

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-1-3	1-2-1		事業名	(仮称)市立認定こども園整備事業		
担当	子ども未来局子育て支援部施設計画担当課 調整担当 大橋 211-2985 教育委員会学校教育推進課企画担当 松平 211-3838						
全体計画							
事業内容	認定こども園に関する法施行を踏まえ、就学前の教育・保育ニーズに対応する新たな選択肢である認定こども園制度は、今後民間事業者による展開が想定される。 この動きに対して、就学前の子どもの教育及び保育を一体的に提供する運営・機能のモデルを示していく必要があることから、市立幼稚園に公立保育所(区保育・子育て支援センター)を併設することにより、幼保連携型の(仮称)市立認定こども園を整備する。 区保育・子育て支援センターについては、安心して子どもを生育てられる環境づくりのため、従来の保育所機能に加え、新たに常設のサロン等のさまざまな子育て支援機能を有するものである。 幼稚園については、札幌市幼児教育振興計画の内容を踏まえ、基本的に1区1園の研究実践機能を持つ幼稚園との位置づけを目指して検討する。		<年度別の事業内容>				
	【19年度】 認定こども園制度に関する検討(目指すべき目標や理念、運営方針の決定、0歳から就学前の教育課程・保育計画作成、20年度園児募集時に公表する基本的な制度内容など)、(仮称)市立認定こども園の基本実施設計、市立しんえい幼稚園仮設園舎設計及び本体工事並びに運営、同園解体設計及び本体工事		【20年度】 認定こども園運営に関する具体的検討(0歳から就学前の具体的指導計画の作成、具体的運営を想定した課題の解決、行事への取組方法、初度調弁の検討等)、開設準備室の設置、(仮称)市立認定こども園本体工事及び開設に必要な備品購入等の準備、市立しんえい幼稚園仮設園舎に係るリース、同園舎から(仮称)市立認定こども園へ移転				
	【21年度】 認定こども園開設、運営開始、実践を通じたモデル的役割の確立						
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(予算)				
	<p>・認定こども園制度に関する検討(目指すべき目標や理念、運営方針の決定、0歳から就学前の教育課程・保育計画作成、20年度園児募集時に公表する基本的な制度内容など)</p> <p>・(仮称)市立認定こども園整備工事の基本実施設計及び仮設園舎整備に係る費用(86,313千円)</p> <p>【費用内訳】(仮称)市立認定こども園設計費(16,075千円)、市立しんえい幼稚園仮設園舎設計・本体工事費(42,454千円)、市立しんえい幼稚園解体設計・解体工事費(27,784千円)</p> <p>【整備概要】市立しんえい幼稚園を全面改築し、(仮称)市立認定こども園を開設するための基本実施設計を行った。また、市立しんえい幼稚園仮設園舎の設計・本体工事を行った。</p> <p>【(仮称)市立認定こども園施設概要】 名称 (仮称)市立認定こども園(市立しんえい幼稚園及び(仮称)清田区保育・子育て支援センターを併設) 構造 鉄筋コンクリート造 2階建 施設面積 約1,242㎡ 所在地 清田区真栄2条1丁目 定員 115人</p> <p>【市立しんえい幼稚園施設概要】 名称 市立しんえい幼稚園(既存園舎は解体) 構造 既存園舎:鉄骨造平屋建、仮設園舎:軽量鉄骨平屋建 施設面積 既存園舎890.4㎡、仮設園舎631.89㎡ 定員 140人</p>		<p>・認定こども園運営に関する具体的検討(0歳から就学前の具体的指導計画の作成、具体的運営を想定した課題の解決、行事への取組方法、初度調弁の検討等)</p> <p>・開設に向けての新園舎本体工事費及び備品購入等の準備(462,100千円)</p> <p>【費用内訳】 (仮称)市立認定こども園本体工事費(458,200千円) 札幌市立しんえい幼稚園移転費及びリース料(3,900千円)</p> <p>【内容】 札幌市立しんえい幼稚園を全面改築し、(仮称)市立認定こども園を開設するための施設本体工事及び外構工事を行う。また、札幌市立しんえい幼稚園仮設園舎より移転を行い、併せて開設に必要な備品の購入を行う。</p>				
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
(仮称)市立認定こども園の開園		-	準備	準備	開園	運営	開園 (21年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 広報等での周知を行い、また保護者及び地域住民への事前説明会を実施した。説明会においては、近隣住民に対する日照等の配慮をはじめ外構設備等について理解や意見を求め、設備内容に反映させた。</p> <p>企業等との連携・協働 都市局建築部を通して設計業者をプロポーザル方式で選定したことにより、創造力・技術力・経験など、最も適した設計業者を選定することができた。選定業者と緊密に連携することにより、利用者ニーズに対応したすべての就学前の子どもが安全・快適に生活し、豊かに育つことができる設計及び設備の検討を進めており、それに基づき、平成20年度は引き続き設計業者及び工事業者調整をとりながら本体工事を行っていく。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 認定こども園という新たな取組みについて、札幌市がモデルを示していくことで、民間によるさらなる事業展開が期待できる。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	1-1-3	1-2-1	事業名	(仮称)市立認定こども園整備事業			
評価(成果)				課題			
<p>[施策体系1-1-3] 認定こども園は、教育及び保育を一体的に提供し、常設の子育てサロン・相談・一時保育等により、子育て支援を行うこととして検討を進めた。</p> <p>[施策体系1-2-1] 保育に欠ける子どもへも保育に欠けない子どもへも、教育・保育を一体的に提供するための検討を進めた。</p> <p>[両施策] 教育及び保育を実践する、現場の幼稚園教諭や保育士の意見を積極的に取り入れて、基本実施設計を行った。 これにより、子どもが安全でのびのびと過ごすことができ、また職員にとっても安心して利用できる環境となることが期待できると考えている。 また、本市がモデルを示し、民間によるさらなる事業展開に向けた、地域の子育て支援や就学前の子どもに対して教育・保育の一体的な提供を行うための検討を、幼稚園教諭・保育士がともに進めることができた。</p>				<p>新たな制度であるため、開設後の取組みや運営内容について理解を得るため、保護者及び地域に情報発信していく必要がある。また、今後、就学前の子どもに対して一体的に教育及び保育を提供するために、幼稚園教諭及び保育士の相互理解を深めていく必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>平成21年4月の開設・運営開始に向けて、平成20年6月より本体工事に入り、平成21年3月に竣工の予定である。開設後は取組みや運営内容について理解を得るため、保護者及び地域に情報発信していく必要がある。また、認定こども園に関する民間へのモデルとしての位置づけを確立し、その後の成果を民間へ発信することにより、札幌市全体の教育及び保育の水準向上を目指すとともに子育て支援の充実を図っていく。</p> <p>また、(仮称)市立認定こども園に内包する区保育・子育て支援センターについては、「さっぽろ子ども未来プラン」の前期計画期間内である平成21年度までに5区(既設の豊平区・西区・手稲区・東区及び清田区、(今回(仮称)市立認定こども園として整備する))に設置するものである。</p> <p>その後、平成22年度までに6区目の区保育・子育て支援センターを整備する予定である。</p> <p>幼稚園(しんえい幼稚園)については、「札幌市の幼児教育振興を図る新たなしくみづくり」に基づき、幼児教育センターの補完的な役割を担う市立幼稚園の研究実践園化を通じて、今度、私立幼稚園と緊密に連携し、札幌市全体の幼児教育の水準向上を図るために、役割を見直し各区1園として、各区における研究実践園としての役割を担っていく。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	93,216	439,784	0	0	533,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	308,000	0	0	308,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	93,216	131,784	0	0	225,000
予算	事業費	93,219	462,100	-	-	555,319	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	197,000			197,000
		その他	0	0			0
		一般財源	93,219	265,100			358,319
実績	事業費	86,313	-	-	-	86,313	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	86,313				86,313
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				102.9%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
[19年度] 札幌市立しんえい幼稚園解体工事費の増(3,699千円) (仮称)市立認定こども園及び札幌市立しんえい幼稚園仮設園舎の設計費、札幌市立しんえい幼稚園解体設計費等の減(10,602千円)							
[20年度] 地中熱ヒートポンプ導入及びオール電化による設備工事等の増(38,618千円) 幼稚園仮設園舎リース料等の減(16,302千円)							